

でんざいDC企業型年金 御中



# 確定拠出年金運営管理業務に関する報告書

2025年6月24日

三井住友信託銀行

# index

本報告書は、事業主様の努力義務である『運営管理機関の5年毎評価』(\*)に必要な評価項目に対する弊社の対応状況をご報告するものです。

## 1 サマリー

## 2 採用商品の状況

## 3 加入者様等宛て情報提供の状況

## 4 運営管理機関の業務運営体制等

(\*) 運営管理機関の5年毎評価

通知 確定拠出年金制度について（平成13年8月21日年発213号）より抜粋

第10 事業主による確定拠出年金運営管理機関の定期的な評価

事業主は、企業型確定拠出年金制度を実施する主体であり、もっぱら加入者等の利益のみを考慮し、確定拠出年金運営管理機関を選定する必要がある。

この点、制度発足時点で評価した確定拠出年金運営管理機関の体制や運用の方法がその時点で望ましいものであったとしても、期間の経過により必ずしもそうでない体制や商品になることがありうる。こうした点を制度の実施主体として、自身で点検・確認し、確定拠出年金運営管理機関との対話等を通じて、改善していくことが必要である。

このため、事業主は、確定拠出年金制度を導入した後も（中略）、少なくとも5年ごとに、確定拠出年金運営管理機関の運営管理業務の遂行状況について評価を行い、運営管理業務の委託について検討を加え、必要があると認めるときは、確定拠出年金運営管理機関の変更その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

**この資料は特に記載のない限り2025年3月末日現在のデータをもとに作成しております。**

# 1 サマリー

### 1-1. 本評価の目的

確定拠出年金関連法令に基づき、運営管理機関による各種業務の実施状況について、法令基準項目に基づき（※）定期的に確認・評価するとともに、必要に応じて運営管理業務改善に向けた対話を行うものです。

※特に商品に関して、本資料は法令等に定められた以下の基準（主に定量評価）を用いて同種商品との比較を行っております。

確定拠出年金は長期的な制度運営が基本であり、実際の商品選定・モニタリングにあたっては、「定量評価」に加えて「定性評価」も行った上で適格性の確認を行っております。

## 1-2. 評価結果（概況）

【各項目ごとの評価結果】（詳細は各項目の評価ページを参照） 評価結果の凡例：○ 問題なし／△一部改善余地あり／×問題あり

評価項目	評価結果	コメント
<b>2. 採用商品の状況</b>		
2-1.商品提供機関・運用会社の状況	○	
2-2.投資信託商品の運用成績の同種商品との比較	○	本報告書に記載の通り、運用成績は平均的なレンジ内となっている。
2-3.元本確保型商品の利回りや安全性の同種商品との比較	○	本報告書に記載の通り、利回りは平均的なレンジ内となっている。安全性が明らかに劣るものはない。
2-4.手数料や解約条件の同種商品との比較	○	本報告書に記載の通り、手数料は平均的なレンジ内となっている。一般的な解約条件となっている。
2-5.採用商品に関する情報の開示状況	○	本報告書に記載の通り、WEB、コールサービスで常に最新の情報が開示されている。
2-6.商品追加/除外の依頼を受けた際の対応	—	(加入者特性・ご要望等に応じ、対応させていただきます。)
2-7.運用商品の定期的なモニタリングと事業主宛て報告	○	本報告書に記載の通り、定期的に報告が行われている。
<b>3. 加入者様等宛て情報提供の状況</b>		
3-1.加入者様等宛て情報提供（WEB・コールサービス）の状況	○	
<b>4. 運営管理機関の業務運営体制等</b>		
4-1.運営管理業務の運営体制	○	
4-2.運営管理機関の信用及び財産の状況等	○	
4-3.運営管理業務以外の委託業務（例：投資教育業務）	○	

【商品に関する評価項目について】

商品区分		本資料上の評価方法
パッシブ	個別資産	トラッキング・エラー、信託報酬、解約条件を基準に、評価しております。
	バランス	信託報酬、解約条件を基準に、評価しております。
アクティブ	個別資産	超過収益率、シャープレシオ、信託報酬、解約条件を基準に、評価しております。
	バランス	シャープレシオ、信託報酬、解約条件を基準に、評価しております。
元本確保型		適用利率、提供機関の信用状況、解約条件を基準に、評価しております。

	投資対象	パッシブ/ アクティブ	商品名	トラッキング エラー	超過収益率	シャープ レシオ	信託報酬	適用利率/ 安全性	解約条件	大和FCIによる評価
1	国内債券	パッシブ	野村国内債券インデxF野村DC	○	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
2	外国債券	パッシブ	日興インデックス海外債券	○	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
3	新興国債券	パッシブ	SMTAM・DC新興国債IDX	○	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
4	国内株式	パッシブ	ニッセイ日経225インデックス	○	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
5	国内株式	パッシブ	野村国内株式インデxF野村DC	○	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
6	外国株式	パッシブ	DIAM外国株式インデックス	○	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
7	新興国株式	パッシブ	SMTAM・DC新興国株IDX	○	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
8	国内REIT	パッシブ	ニッセイDCJ-REITB	○	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
9	バランス	パッシブ	DCTY6資産運用継続2030	-	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
10	バランス	パッシブ	DCTY6資産運用継続2040	-	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
11	バランス	パッシブ	DCTY6資産運用継続2050	-	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
12	バランス	パッシブ	DCTY6資産運用継続2060	-	-	-	○	-	無	適格性に問題なし
13	バランス	パッシブ	SMTAM・DCバランス30	-	-	-	○	-	有	適格性に問題なし
14	バランス	パッシブ	SMTAM・DCバランス50	-	-	-	○	-	有	適格性に問題なし
15	バランス	パッシブ	SMTAM・DCバランス70	-	-	-	○	-	有	適格性に問題なし
16	国内株式	アクティブ	ALAMCO・リサーチ・日本株	-	○	○	○	-	有	適格性に問題なし
17	国内株式	アクティブ	DCダイワバリュー株オープン	-	○	○	○	-	無	適格性に問題なし
18	国内株式	アクティブ	SMTAM・日株エクセレントF	-	○	○	○	-	無	適格性に問題なし

1-3. 商品に関する評価結果一覧

投資対象	パッシブ/ アクティブ	商品名	トラッキング エラー	超過収益率	シャープ レシオ	信託報酬	適用利率/ 安全性	解約条件	大和FCIによる評価	
19	国内株式	アクティブ	フィデリティ・日本成長株	-	○	○	○	-	無	適格性に問題なし
20	外国株式	アクティブ	年金積立Iグロース(日興)	-	○	○	○	-	有	適格性に問題なし
21	ショートを活用した バランス	アクティブ	SMTAM・コアラップA	-	-	○	○	-	無	適格性に問題なし
22	ショートを活用した バランス	アクティブ	SMTAM・コアラップS	-	-	○	○	-	無	適格性に問題なし
23	定期預金	-	みずほDC定期預金(3年)	-	-	-	-	○	有	-
24	定期預金	-	ろうきん定期(スーパー型)	-	-	-	-	○	有	-
25	定期預金	-	三井住友信託DC定期固定1年	-	-	-	-	○	有	-
26	保険商品	-	東京海上日動ねんきん博士10年	-	-	-	-	○	有	-
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										

## 「2.採用商品の状況」のデータの見方

### ① 投資信託（パッシブ商品／個別資産）のパフォーマンス／トラッキングエラー（TE）

該当ページで評価を行う投資信託の種類を示します。

該当ページの分析項目を示します。

投資対象	商品名	トラッキングエラー（3年、年率）				トラッキングエラー（5年、年率）				大和FCによる評価	評価		
		商品実績 (%)	平均との比較		平均 (%)	同カテゴリー本数	商品実績 (%)	平均との比較				平均 (%)	同カテゴリー本数
			大 ←	→ 小				大 ←	→ 小				
1 国内債券	〇〇日本債券インデックスファンド	0.06		0.069	20	0.05		0.059	20	適格性に問題なし	○		
2 国内株式	〇〇日本株式インデックスファンド	1.05		0.824	42	1.03		0.805	42	適格性に問題なし	○		
3 外国債券	〇〇外国債券インデックスファンド	0.32		0.304	22	0.38		0.317	22	適格性に問題なし	○		

該当商品の分析項目における実績を示します。

「-」となっている商品は3年もしくは5年の実績が無い商品となります。

▶投資信託：大和ファンド・コンサルティング（※）がDC商品群として適格と認定した商品の中で、  
①該当商品と同カテゴリーの商品本数  
②同カテゴリー商品の実績平均 を示します。  
※商品に関する第三者評価機関（次ページ参照）

▶元本確保型：弊社が提示している商品の中で、  
①該当商品と同カテゴリーの商品本数  
②同カテゴリー商品の実績中央値 を示します。

分析項目における、該当商品の位置づけを示します。

- ◆：該当商品の実績値の分位
- ：同カテゴリー商品群の実績平均値の分位
- ：同カテゴリー商品群の実績値の幅（最上位、最下位10%を除く、10%～90%の範囲）

大和ファンド・コンサルティングは、資産運用の評価やアドバイスを行うために設立された大和証券グループの会社です。投資信託や運用機関（ファンド）の評価、年金運用コンサルティング等を主な業務としています。

大和証券グループ

大和ファンド・コンサルティング

Daiwa Fund Consulting

＜ファンド評価（セントラルリサーチ）＞

株式ファンド 債券ファンド マルチアセットファンド

社外顧客向けファンド

年金運用コンサルティング

確定拠出年金運営管理機関

確定給付年金の年金顧客

専門部署（セントラルリサーチ部門）を通じて、  
ファンド評価サービスを提供しています。

## ■ 大和ファンド・コンサルティングの特徴

- ✓ 運用会社にアンケートを送付し、収集したデータを独自のデータベースとして構築。
- ✓ 過去20年以上にわたって定性分析を軸とした評価基準を確立。
- ✓ 明確な基準に基づき、チームアプローチにより評価を実施。
- ✓ 確定拠出年金向けに31社・594ファンドを選定。



運や偶然によって良好な実績を示す運用ではなく、  
真に実力のある運用を見極める

## 2 採用商品の状況

商品提供機関・運用会社毎の採用商品本数は以下の通りとなり、加入者様等のみの利益を目的とした商品ラインアップとしております。

商品提供機関・運用会社	商品本数
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社	12本
ニッセイアセットマネジメント株式会社	2本
日興アセットマネジメント株式会社	2本
野村アセットマネジメント株式会社	2本
アセットマネジメントOne株式会社	1本
フィデリティ投信株式会社	1本
株式会社みずほ銀行	1本
三井住友信託銀行株式会社	1本
大和アセットマネジメント株式会社	1本
朝日ライフアセットマネジメント株式会社	1本
東京海上日動火災保険株式会社	1本
労働金庫連合会	1本

① 投資信託（パッシブ商品/個別資産）のパフォーマンス/トラッキングエラー（TE）

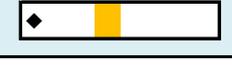
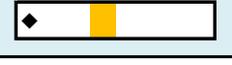
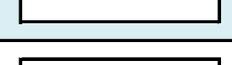
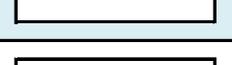
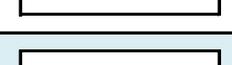
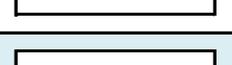
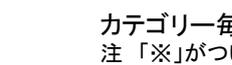
投資対象	商品名	トラッキングエラー(3年、年率)				トラッキングエラー(5年、年率)				大和FCによる評価	評価
		商品実績 (%)	平均との比較			商品実績 (%)	平均との比較				
			大 ← → 小	平均 (%)	同カテゴリー本数		大 ← → 小	平均 (%)	同カテゴリー本数		
1 国内債券	野村国内債券インデF野村DC	0.051		0.056	24	0.044		0.050	23	適格性に問題なし	○
2 外国債券	日興インデックス海外債券	0.129		0.141	23	0.133		0.149	22	適格性に問題なし	○
3 新興国債券	SMTAM・DC新興国債IDX	0.959		1.285	9※	1.311		1.447	8※	適格性に問題なし	○
4 国内株式	ニッセイ日経225インデックス	0.091		0.072	51	0.097		0.091	50	適格性に問題なし	○
5 国内株式	野村国内株式インデF野村DC	0.030		0.072	51	0.047		0.091	50	適格性に問題なし	○
6 外国株式	DIAM外国株式インデックス	0.053		0.094	30	0.054		0.095	26	適格性に問題なし	○
7 新興国株式	SMTAM・DC新興国株IDX	0.496		1.255	10	0.548		1.691	10	適格性に問題なし	○
8 国内REIT	ニッセイDCJ-REITB	0.163		0.089	10	0.185		0.104	8	適格性に問題なし	○
9											
10											
11											
12											

トラッキングエラー(TE)とは  
 商品の運用成績を測る指標の1つであり、該当商品のリターンとベンチマークのリターンとの差の標準偏差を表します。  
 この数値が小さいほどベンチマークに追随できていることを示します。  
 注 本資料上では、主要投資対象を株式とする投資信託について、ベンチマークを全て「配当込み」基準で統一の上、比較を行っております。  
 トラッキングエラー=(ファンドの収益率-ベンチマークの収益率)の標準偏差

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施  
 注 「※」がついているカテゴリーに関しては、大和FCのDC適格商品群における同カテゴリー商品が少ないため、公募投資信託のうち、DCでの採用が確認でき、3年以上の実績がある商品も含めて比較を実施しております。

- ◆ : 該当商品
- : 各カテゴリーにおける平均
- : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

② 投資信託（アクティブ商品／個別資産）のパフォーマンス／収益率

投資対象	商品名	収益率(3年、年率)				収益率(5年、年率)				大和FCによる評価		
		商品実績 (%)	平均との比較		平均 (%)	同カテゴリー本数	商品実績 (%)	平均との比較			平均 (%)	同カテゴリー本数
			低 ←	→ 高				低 ←	→ 高			
1 国内株式	ALAMCO・リサーチ・日本株	10.318		11.084	78	14.650		15.046	77	適格性に問題なし		
2 国内株式	DCダイワバリュー株オープン	17.868		11.084	78	18.637		15.046	77	適格性に問題なし		
3 国内株式	SMTAM・日株エクセレントF	12.716		11.084	78	17.400		15.046	77	適格性に問題なし		
4 国内株式	フィデリティ・日本成長株	7.025		11.084	78	12.846		15.046	77	適格性に問題なし		
5 外国株式	年金積立Iグロース(日興)	12.157		9.838	45	19.903		18.752	43	適格性に問題なし		
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施  
 注「※」がついているカテゴリーに関しては、大和FCのDC適格商品群における同カテゴリー商品が少ないため、  
 公募投資信託のうち、DCでの採用が確認でき、3年以上の実績がある商品も含めて比較を実施しております。

- ◆ : 該当商品
- : 各カテゴリーにおける平均

: 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

② 投資信託（アクティブ商品／バランス）のパフォーマンス／収益率

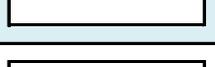
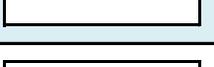
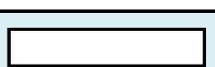
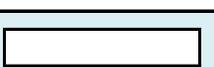
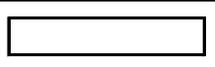
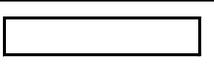
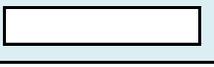
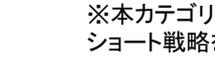
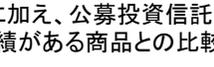
投資対象	商品名	収益率(3年、年率)				収益率(5年、年率)				大和FC による 評価		
		商品 実績 (%)	平均との比較		平均 (%)	同カテ ゴリー本数	商品 実績 (%)	平均との比較			平均 (%)	同カテ ゴリー本数
			低 ←	→ 高				低 ←	→ 高			
1			10	90				10	90			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施

- ◆ : 該当商品
- : 各カテゴリーにおける平均
- : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

## 2-2. 投資信託商品の運用成績の同種商品との比較

### ② 投資信託（アクティブ商品/ショートを活用したバランス）のパフォーマンス/収益率

投資対象	商品名	収益率(3年、年率)				収益率(5年、年率)				大和FCによる評価	
		商品実績 (%)	平均との比較		商品実績 (%)	平均との比較					
			低 ← → 高	平均 (%)		同カテゴリー本数	低 ← → 高	平均 (%)	同カテゴリー本数		
1	ショートを活用したバランス	SMTAM・コアラップA	0.087		-1.199	35※	2.621		1.993	31※	適格性に問題なし
2	ショートを活用したバランス	SMTAM・コアラップS	3.389		-1.199	35※	6.748		1.993	31※	適格性に問題なし
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施  
 ※本カテゴリーは、大和FCのDC適格商品群に加え、公募投資信託のうち「絶対収益追求型」に該当し、  
 ショート戦略を活用する商品で、3年以上の実績がある商品との比較を実施しております。

◆ : 該当商品

■ : 各カテゴリーにおける平均

 : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

② 投資信託（アクティブ商品／個別資産）のパフォーマンス／超過収益率

投資対象	商品名	超過収益率(3年、年率)				超過収益率(5年、年率)				大和FCによる評価	評価
		商品実績 (%)	平均との比較		商品実績 (%)	平均との比較					
			低 ← → 高	平均 (%)		同カテゴリー本数	低 ← → 高	平均 (%)	同カテゴリー本数		
1 国内株式	ALAMCO・リサーチ・日本株	-3.448		-2.658	78	-1.724		-1.225	77	適格性に問題なし	○
2 国内株式	DCダイワバリュー株オープン	4.102		-2.658	78	2.264		-1.225	77	適格性に問題なし	○
3 国内株式	SMTAM・日株エクセレントF	-1.050		-2.658	78	1.026		-1.225	77	適格性に問題なし	○
4 国内株式	フィデリティ・日本成長株	-6.741		-2.658	78	-3.528		-1.225	77	適格性に問題なし	○
5 外国株式	年金積立Iグロース(日興)	-3.000		-3.212	45	-4.873		-3.045	43	適格性に問題なし	○
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											

超過収益率とは  
商品の運用成績を測る指標の1つであり、商品のリターンとベンチマークのリターンとの乖離を表します。  
この数値が大きいほど、アクティブ運用の効率が低いことを示します。  
注 本資料上では、主要投資対象を株式とする投資信託について、ベンチマークを全て「配当込み」基準で統一の上、比較を行っております。  
超過収益率＝ファンド収益率－ベンチマーク

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施  
注 3年もしくは5年の実績がない商品に加え、ベンチマーク(参考数値も含む)が設定されていない商品は、該当商品の実績を「-」としております。  
注 「※」がついているカテゴリーに関しては、大和FCのDC適格商品群における同カテゴリー商品が少ないため、公募投資信託のうち、DCでの採用が確認でき、3年以上の実績がある商品も含めて比較を実施しております。

◆ : 該当商品  
■ : 各カテゴリーにおける平均

: 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

③ 投資信託（アクティブ商品／個別資産）のパフォーマンス／シャープレシオ

投資対象	商品名	シャープレシオ(3年、年率)				シャープレシオ(5年、年率)				大和FCによる評価	評価		
		商品実績	平均との比較		平均	同カテゴリー本数	商品実績	平均との比較				平均	同カテゴリー本数
			低 ←	→ 高				低 ←	→ 高				
1 国内株式	ALAMCO・リサーチ・日本株	0.980		0.945	78	1.249		1.146	77	適格性に問題なし	○		
2 国内株式	DCダイワバリュー株オープン	1.636		0.945	78	1.575		1.146	77	適格性に問題なし	○		
3 国内株式	SMTAM・日株エクセレントF	0.808		0.945	78	1.110		1.146	77	適格性に問題なし	○		
4 国内株式	フィデリティ・日本成長株	0.580		0.945	78	0.935		1.146	77	適格性に問題なし	○		
5 外国株式	年金積立Iグロース(日興)	0.647		0.663	45	1.109		1.179	43	適格性に問題なし	○		
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													

シャープレシオとは

商品の運用成績を測る指標の1つであり、商品のリターンから無リスク資産のリターンを差し引いたものを、商品のリターンの標準偏差で割って求めます。この値が高いほど、効率よく収益が得られていることを示します。

注 本指標は一般的にリターンがプラス圏での分析に用いられ、マイナス圏では参考値となります。  
(リターンがマイナスの場合、標準偏差が大きいほど値が高くなる傾向があるため。)

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施  
注 「※」がついているカテゴリーに関しては、大和FCのDC適格商品群における同カテゴリー商品が少ないため、公募投資信託のうち、DCでの採用が確認でき、3年以上の実績がある商品も含めて比較を実施しております。

◆ : 該当商品

■ : 各カテゴリーにおける平均

□ : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

③ 投資信託（アクティブ商品/バランス）のパフォーマンス/シャープレシオ

投資対象	商品名	シャープレシオ(3年、年率)				シャープレシオ(5年、年率)				大和FCによる評価	評価		
		商品実績	平均との比較		平均	同カテゴリー本数	商品実績	平均との比較				平均	同カテゴリー本数
			低 ←	→ 高				低 ←	→ 高				
1			10	90				10	90				
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													

シャープレシオとは

商品の運用成績を測る指標の1つであり、商品のリターンから無リスク資産のリターンを差し引いたものを、商品のリターンの標準偏差で割って求めます。この値が高いほど、効率よく収益が得られていることを示します。

注 本指標は一般的にリターンがプラス圏での分析に用いられ、マイナス圏では参考値となります。  
(リターンがマイナスの場合、標準偏差が大きいほど値が高くなる傾向があるため。)

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施

- ◆ : 該当商品
- : 各カテゴリーにおける平均
- : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

③ 投資信託（アクティブ商品/ショートを活用したバランス）のパフォーマンス/シャープレシオ

投資対象	商品名	シャープレシオ(3年、年率)				シャープレシオ(5年、年率)				大和FCによる評価	評価		
		商品実績	平均との比較		平均	同カテゴリー本数	商品実績	平均との比較				平均	同カテゴリー本数
			低 ←	→ 高				低 ←	→ 高				
1	ショートを活用したバランス	SMTAM・コアラップA	0.009		-0.099	35※	0.659		0.204	31※	適格性に問題なし	○	
2	ショートを活用したバランス	SMTAM・コアラップS	0.654		-0.099	35※	1.199		0.204	31※	適格性に問題なし	○	
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													

シャープレシオとは

商品の運用成績を測る指標の1つであり、商品のリターンから無リスク資産のリターンを差し引いたものを、商品のリターンの標準偏差で割って求めます。この値が高いほど、効率よく収益が得られていることを示します。

注 本指標は一般的にリターンがプラス圏での分析に用いられ、マイナス圏では参考値となります。(リターンがマイナスの場合、標準偏差が大きいほど値が高くなる傾向があるため。)

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施  
 ※本カテゴリーは、大和FCのDC適格商品群に加え、公募投資信託のうち「絶対収益追求型」に該当し、ショート戦略を活用する商品で、3年以上の実績がある商品との比較を実施しております。

◆ : 該当商品

■ : 各カテゴリーにおける平均

□ : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

④同種商品とパフォーマンスに差異がある商品に関する評価

投資対象	商品名	評価
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

① 元本確保型商品の利回りと安全性

投資対象	商品名	金利			格付機関による 商品提供機関の格付				評価
		商品実績 (%)	中央値 (%)	同カテゴリ 本数	Moody's	S&P	R&I	JCR	
1 定期預金	みずほDC定期預金(3年)	0.350	0.275	24	A1	A	AA	AA	○
2 定期預金	ろうきん定期(スーパー型)	0.550	0.400	22	-	-	AA-	-	○
3 定期預金	三井住友信託DC定期固定1年	0.295	0.275	24	A1	A	AA-	AA	○
4 保険商品	東京海上日動ねんきん博士10年	1.022	0.886	2	Aa3	A+	AA+	AAA	○
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									

② 同種商品と比べ、利回りや安全性に差異がある商品に関する評価

投資対象	商品名	評価
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

① 投資信託（パッシブ商品／個別資産）の手数料

投資対象	商品名	商品実績 (%)	信託報酬			大和FCによる評価	評価	
			平均との比較		平均 (%)			同カテゴリー本数
			高 ←	→ 低				
1 国内債券	野村国内債券インデフ野村DC	0.1320		0.186	24	適格性に問題なし	○	
2 外国債券	日興インデックス海外債券	0.1540		0.260	23	適格性に問題なし	○	
3 新興国債券	SMTAM・DC新興国債IDX	0.2750		0.332	9※	適格性に問題なし	○	
4 国内株式	ニッセイ日経225インデックス	0.2750		0.271	51	適格性に問題なし	○	
5 国内株式	野村国内株式インデフ野村DC	0.1540		0.271	51	適格性に問題なし	○	
6 外国株式	DIAM外国株式インデックス	0.2750		0.263	33	適格性に問題なし	○	
7 新興国株式	SMTAM・DC新興国株IDX	0.2750		0.296	10	適格性に問題なし	○	
8 国内REIT	ニッセイDCJ-REITB	0.1870		0.319	10	適格性に問題なし	○	
9								
10								
11								
12								

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施

注 「※」がついているカテゴリーに関しては、大和FCのDC適格商品群における同カテゴリー商品が少ないため、公募投資信託のうち、DCでの採用が確認でき、3年以上の実績がある商品も含めて比較を実施しております。

◆ : 該当商品

■ : 各カテゴリーにおける平均

□ : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

① 投資信託（パッシブ商品／バランス）の手数料

投資対象	商品名	商品実績 (%)	信託報酬			大和FCによる評価	評価	
			平均との比較		平均 (%)			同カテゴリー本数
			高 ←	→ 低				
1 バランス	DCTY6資産運用継続2030	0.3740		0.366	152	適格性に問題なし	○	
2 バランス	DCTY6資産運用継続2040	0.3740		0.366	152	適格性に問題なし	○	
3 バランス	DCTY6資産運用継続2050	0.3740		0.366	152	適格性に問題なし	○	
4 バランス	DCTY6資産運用継続2060	0.3740		0.366	152	適格性に問題なし	○	
5 バランス	SMTAM・DCバランス30	0.2310		0.366	152	適格性に問題なし	○	
6 バランス	SMTAM・DCバランス50	0.2420		0.366	152	適格性に問題なし	○	
7 バランス	SMTAM・DCバランス70	0.2530		0.366	152	適格性に問題なし	○	
8								
9								
10								
11								
12								

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施

◆ : 該当商品

■ : 各カテゴリーにおける平均

□ : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

② 投資信託（アクティブ商品／個別資産）の手数料

投資対象	商品名	商品実績 (%)	信託報酬			大和FCによる評価	評価
			平均との比較				
			高 ← → 低	平均 (%)	同カテゴリー本数		
1 国内株式	ALAMCO・リサーチ・日本株	1.6500		1.375	79	適格性に問題なし	○
2 国内株式	DCダイワバリュー株オープン	1.6720		1.375	79	適格性に問題なし	○
3 国内株式	SMTAM・日株エクセレントF	1.3750		1.375	79	適格性に問題なし	○
4 国内株式	フィデリティ・日本成長株	1.6830		1.375	79	適格性に問題なし	○
5 外国株式	年金積立Iグロース(日興)	1.9800		1.507	48	適格性に問題なし	○
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施

注 「※」がついているカテゴリーに関しては、大和FCのDC適格商品群における同カテゴリー商品が少ないため、公募投資信託のうち、DCでの採用が確認でき、3年以上の実績がある商品も含めて比較を実施しております。

◆ : 該当商品

■ : 各カテゴリーにおける平均

□ : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

② 投資信託（アクティブ商品／バランス）の手数料

投資対象	商品名	商品実績 (%)	信託報酬				大和FCによる評価	評価
			平均との比較		平均 (%)	同カテゴリー本数		
			高 ←	→ 低				
1			90	10				
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施

- ◆ : 該当商品
- : 各カテゴリーにおける平均
- : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

② 投資信託（アクティブ商品/ショートを活用したバランス）の手数料

投資対象	商品名	商品実績 (%)	信託報酬			大和FCによる評価	評価
			平均との比較				
			高 ← → 低	平均 (%)	同カテゴリー本数		
1	ショートを活用したバランス	0.9350		0.873	35※	適格性に問題なし	○
2	ショートを活用したバランス	0.9350		0.873	35※	適格性に問題なし	○
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

カテゴリー毎に大和ファンド・コンサルティング(大和FC)が適格としているDC商品群との比較を実施

※本カテゴリーは、大和FCのDC適格商品群に加え、公募投資信託のうち「絶対収益追求型」に該当し、ショート戦略を活用する商品で、3年以上の実績がある商品との比較を実施しております。

◆ : 該当商品

■ : 各カテゴリーにおける平均

□ : 各カテゴリーにおけるパーセンタイル(10%~90%)

③ 商品解約時の条件について（元本確保型商品）

投資対象	商品名	中途解約時の条件
1 定期預金	みずほDC定期預金(3年)	中途解約利率適用
2 定期預金	ろうきん定期(スーパー型)	中途解約利率適用
3 定期預金	三井住友信託DC定期固定1年	中途解約利率適用
4 保険商品	東京海上日動ねんきん博士10年	解約控除が適用となる場合があります。
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

④ 商品解約時の条件について（投資信託）

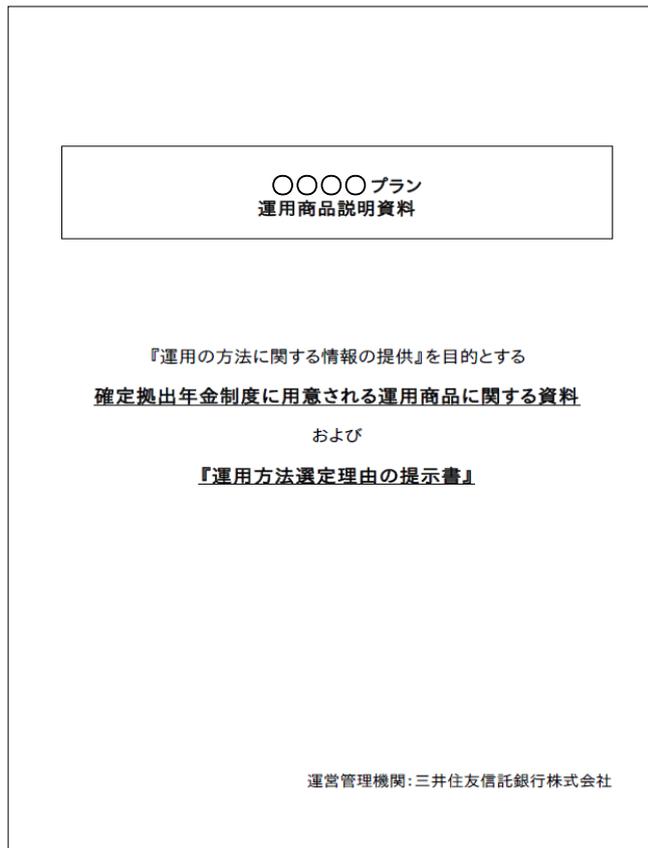
投資対象	商品名	信託財産留保額発生時の条件
1 バランス	SMTAM・DCバランス30	売却時基準価額の0.13%
2 バランス	SMTAM・DCバランス50	売却時基準価額の0.15%
3 バランス	SMTAM・DCバランス70	売却時基準価額の0.17%
4 国内株式	ALAMCO・リサーチ・日本株	売却時基準価額の0.3%
5 外国株式	年金積立Iグロース(日興)	売却時基準価額の0.3%
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

⑤ 同種商品と比べ、手数料や解約条件に差異がある商品に関する評価

投資対象	商品名	評価
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

- ・三井住友信託ライフガイドにて加入者様等に提示している「運用商品説明資料」にて、貴プランに提示している商品一覧を記載しております。
- ・また、三井住友信託ライフガイドの「商品情報」のページでは、各商品の手数料をはじめ、運用実績の最新情報や商品概要等の情報をご提供をしております。

<運用商品説明資料>



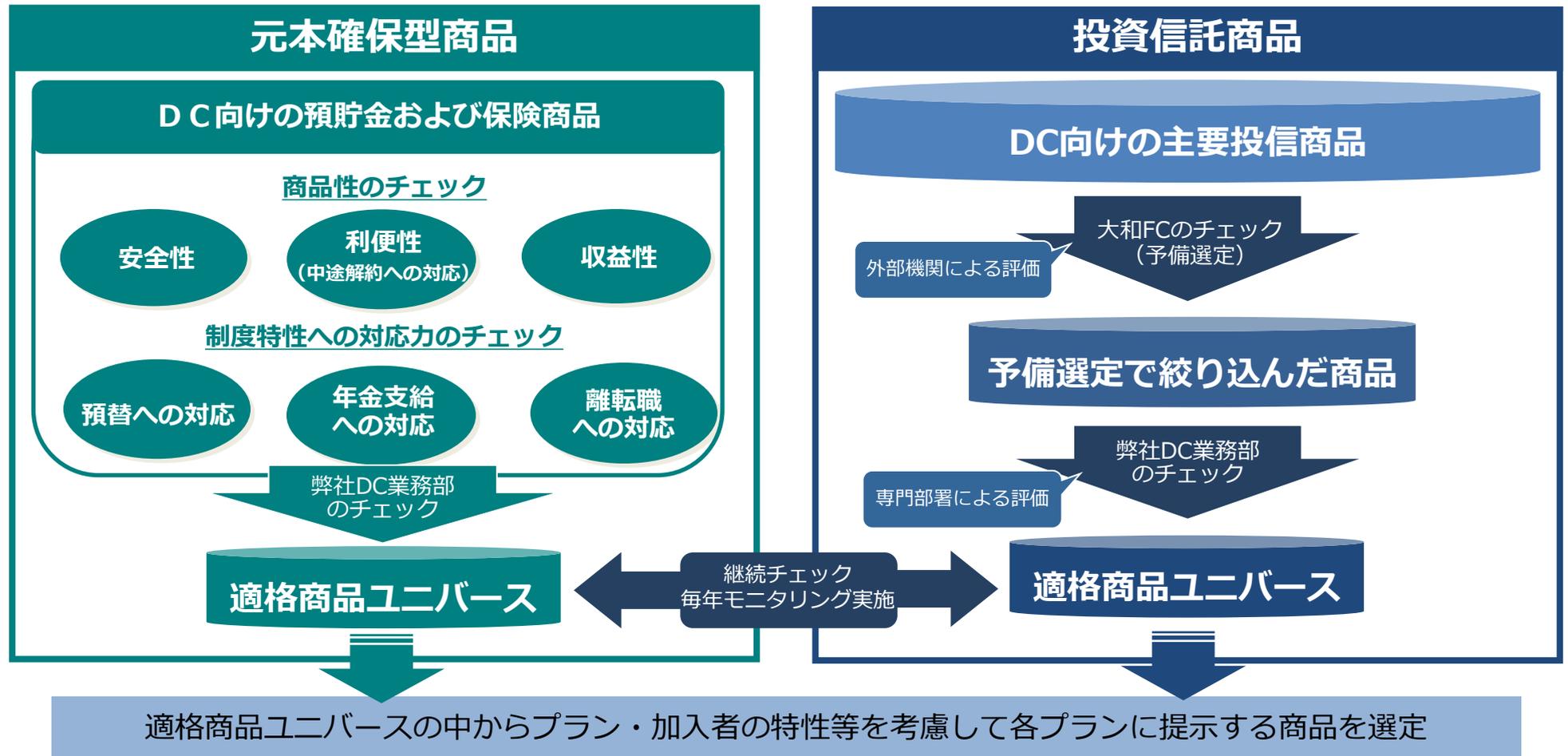
<三井住友信託ライフガイド：商品情報>

商品名	信託報酬	信託財産留保額	ベンチマーク	累積リターン (1年)	チャート	月次レポート	第三者評価書	商品コード
日本債券インデックスファンド	0.0%	-	NOMURA-BPI 総合	2.29% (01/31)		0.35% (02/14)	0.12% (02/14)	12349
外国債券インデックスファンド	0.0%	-	FTSE世界国債 (除く日本)	13.55% (01/31)		1.42% (02/14)	0.16% (02/14)	12351
新興国債券ファンド	0.0%	-	運用商品説明資料を参照ください	-3.44% (01/31)		2.16% (02/14)	-	12367
日本株式インデックスファンド	0.0%	0.0%	TOPIX (配当込み)	31.49% (01/31)		3.05% (02/14)	0.17% (02/14)	12353
日本株式アクティブファンド	0.0%	-	TOPIX (配当込み)	26.37% (01/31)		3.11% (02/14)	0.14% (02/14)	12369

※画像はイメージです。

- ・弊社では、加入者様等の利益を考慮して、商品の追加・除外を行っております。
- ・商品の追加・除外のご要望がございましたら、弊社担当者までご連絡ください。

<弊社の運用商品選定プロセスの概要>



- ・年次で代表事業主様にお送りしております「確定拠出年金制度にかかる運用商品の状況に関するご報告」において、各商品の運用成績や適格性に問題がないこと等についてご案内しております。
- ・また、三井住友信託ライフガイドに掲載されている運用商品説明資料内の「運用方法選定理由の提示書」において、各商品の評価結果についてご提示しています。

<確定拠出年金制度にかかる運用商品の状況に関するご報告>

○○○○ プラン 御中

---

確定拠出年金制度にかかる  
運用商品の状況に関するご報告

- INDEX

- 1 年度マーケット概況
- 2 運用商品の実績一覧
- 3 個別資産の運用実績
- 4 用語解説

※本資料は、確定拠出年金制度にかかわる運用商品の状況に関するご報告の一環として作成されたものであり、投資に関する重要な事項については、別途ご報告いたします。

<運用方法選定理由の提示書>

運用方法選定理由の提示書

**運用方法**

- 会社名: 日本債券
- ファンド名: パッシブ型
- ファンド分類:
- アクティブ/パッシブ区分:

**運用方法の選定理由**

- 経営基礎の評価: 会社の経営基礎(株主や役員の状態・会社の規模・業況等)は概ね良好な水準を維持していると思われます。
- 投資哲学の評価: 会社の投資哲学(明確性、一貫性、論理性・合理性)や商品戦略等は優れた水準にあり、本商品について運用会社としての付加価値に比較優位性を有すると思われます。
- 人材の評価: 本商品の運用に関わる人材は、運用会社の陣容(質および量)として概ね良好な水準にあると判断されます。
- 運用プロセスの評価: パッシブ型の日本債券の運用プロセス(意思決定や投資プロセスの論理性・納得性や組織・体制、リスク管理等)の品質としては概ね良好な水準にあると思われれます。
- 管理プロセス・情報開示の評価: 会社の管理プロセス(コンプライアンス体制やバックオフィス機能の整備状況等)・情報開示体制については充実した水準にあると思われれます。
- 報酬率: 報酬率は年々(投資年々)です。パッシブ型の日本債券の運用としては、報酬率は平均以下(安め)の水準です。

**評価結果**

- 総合評価: 以上を総合的に勘案した結果、本運用商品の総合評価は「適格」と考えられます。

**<三井住友信託銀行の評価>**  
 「適格」: 確定拠出年金の運用の方法として所定の水準を満たしており適宜と判断されます。  
 「不適格」: 現時点では確定拠出年金の運用の方法として適宜と判断されず。

三井住友信託銀行

※画像はイメージです。

### 3 加入者様等（\*）宛て情報提供の状況

（\*）加入者様等・・・貴プランをご利用されている加入者、受給者、運用指図者等を指します。

## 3-1. 加入者様等宛て情報提供（WEB・コールサービス）の状況

### ① 弊社WEBサービス（三井住友信託ライフガイド）による情報提供

- ・ 加入者様専用ページでは、本人認証を行っているためご自身の資産残高や損益等の確認、各種運用シミュレーションから実際のお手続きまで行うことができます。また、「WEB相談」も本人認証後にご利用いただけるサービスのため、ご本人の状況に合わせて回答を作成いたします。
- ・ 「AIチャットボット」により、24時間気軽にご質問いただけます。

#### <三井住友信託ライフガイド>

The screenshot displays the 'LIFE GUIDE' website interface. At the top, there's a navigation bar with 'トップページ' and a login status. Below, a main menu includes '加入者メニュー' (加入者情報の確認, 商品情報の確認, シミュレーション), '学ぶメニュー' (制度の情報, WEBの利用方法, くわしく学ぶ, 退職時の手続き, マーケット情報), and '手続き・相談メニュー' (運用商品の変更). The central area shows 'DC 確定拠出年金' with a balance of 98万円 and 'あなたの資産残高' with a current value of 152万円. An 'AIチャットボット' window is overlaid, displaying a greeting and instructions for use. The chatbot text includes: 'いつもご利用いただきありがとうございます! AIチャットボットです! ■ご利用に際しましてはご留意いただきたい事項をご確認ください。■ご質問は、話しかけるようにご入力してください。例: ○「イデコ」に加入したい △「イデコ」加入 (単語のみご入力) ※ご利用を終了される際はログアウトをお願いします。画面を開いただけではログアウトになりませんのでご注意ください。' Below this, there are links for 'よくある質問はこちらです。', 'インターネットにログインする番号や暗証番号(パスワード)が分からない', '運用商品について調べたい', '運用中の商品を変更したい', and '掛金で購入する商品の割合を変更したい'. A search bar at the bottom prompts 'メッセージを入力してください'.

※画像はイメージです。

#### 三井住友信託ライフガイドで提供している主な情報や機能

##### 1. お勤め先専用ページ<加入前から利用可能>

- ・ プラン情報
- ・ 運用商品一覧
- ・ 運用商品の概要資料（月次レポート、第三者評価書など）
- ・ テキスト、加入者ハンドブック、運用商品説明資料
- ・ 三井住友信託 DC NEWS LETTER（マーケット概況など）
- ・ 加入前から利用可能なDC運用シミュレーション、ライフプランシミュレーション
- ・ AIチャットボット（コールセンター営業時間外でも簡単な質問にはAIがチャットで回答）

##### 2. 加入者様専用ページ<加入後から利用可能>

- ・ 資産評価額、拠出金累計額、評価損益
- ・ 運用利回り（初回拠出金）、資産クラス別の評価額
- ・ 資産額推移
- ・ 運用商品一覧（プラン全商品／保有商品のみ など）
- ・ 商品分析、マーケット情報
- ・ 各種シミュレーション（リスク許容度診断/運用割合・預替シミュレーションなど）
- ・ 運用の手続き（運用割合の変更、運用商品の預替）
- ・ 暗証番号の変更手続き
- ・ WEB相談
- ・ お知らせ
- ・ 用語集、FAQ
- ・ 制度の情報

※実際の機能は事業主様によって異なる場合があります。

### 3- 1 .加入者様等宛て情報提供（WEB・コールサービス）の状況

#### ②弊社コールサービス（三井住友信託確定拠出年金コールサービス）による情報提供

- ・ 専門のオペレーターが、加入前に生じる疑問や加入中、給付金を受け取る時などの、さまざまな相談や質問に対応します。
- ・ スマートフォンをご利用の方が多くいらっしゃるため、スマートフォン向けのサービス=V-IVR（Visual Interactive Voice Response）を充実させ視覚的に各種お手続きを行っていただくことが可能となっております。

#### 【三井住友信託確定拠出年金コールサービスでの情報提供、ご相談の例】

- 確定拠出年金制度に関する情報や、投資についての基礎知識などに関するご照会
- 資産残高、取引履歴など運用状況に関するご照会
- ご加入のプランの運用商品の特征に関するご質問や、商品選択のポイントなどについてのご相談
- 個人型DC（iDeCo）同時加入に関するご相談
- 年金や一時金のお受け取りの手続きについてのご相談
- 中途退職時の個人型（iDeCo）などへの移換手続きのご案内や、脱退に関するお問い合わせ

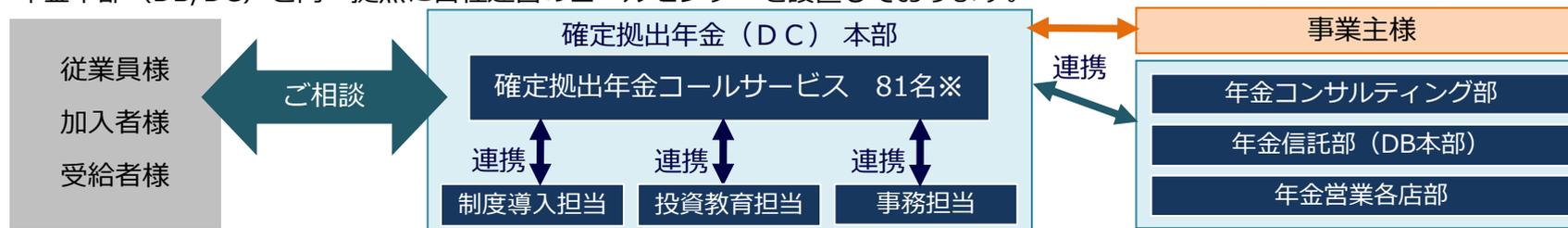
【V-IVR案内画面】スマートフォン等にメニューを表示し、視覚的情報で各種お手続き手順等をご案内



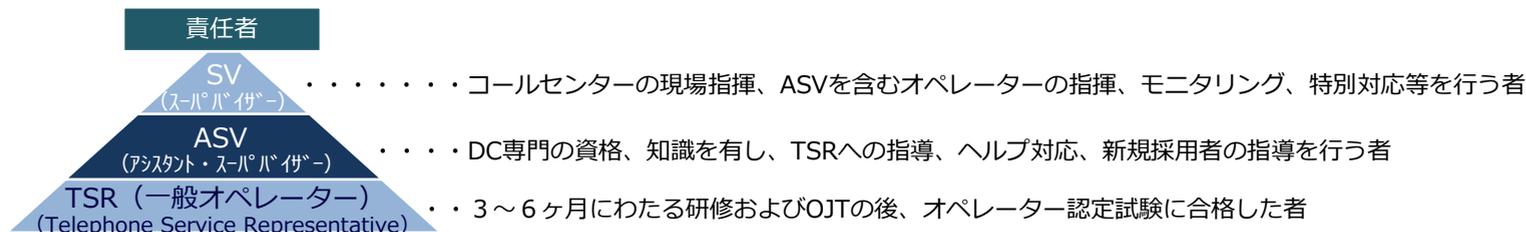
※画面はイメージです。

#### ＜ご参考＞三井住友信託確定拠出年金コールサービスの運営体制

年金本部（DB/DC）と同一拠点に自社運営のコールセンターを設置しております。



※確定拠出年金コールサービスの体制図（2025年4月1日時点）



## 4 運営管理機関の業務運営体制等

## 4-1. 運営管理機関の業務運営体制等

現在弊社では、運営管理業務を担う専門部署として、確定拠出年金業務部79名、確定拠出年金管理部144名の人員を擁し、お客様のDC制度の設計、運営のサポートから、事務、規約申請等のサポート、投資教育、WEB、コールセンター等の加入者向けのサービスまで、ワンストップでご提供する、万全の体制で運営業務を行っております。

### 確定拠出年金業務部 79名※

制度導入・制度運営のお客様サポート

#### 「制度運営」対応全般

お客様の担当窓口：DC制度運営に関する全般的なご相談、継続教育など  
業務推進第一・第二・第三チーム

#### 制度導入・事業所編入（追加）実務

円滑な制度導入・事業所編入（追加）をサポート  
業務推進第一・第四チーム

#### 投資教育の企画・運営

投資教育チーム

#### 商品選定・評価

商品評価チーム

#### 確定拠出年金業務全般の企画・開発

営業企画チーム・業務チーム

### 確定拠出年金管理部 144名※

管理事務（事務サポート・コールサービス）

#### 「事務」対応全般

毎月の掛金拠出に関する事務をはじめ、各種事務に関する総合窓口  
運営管理第一・第二チーム・第三チーム

#### コールサービス業務

コールセンターにおける加入者向け情報提供窓口  
加入者サービス第一・第二・第三チーム

#### その他の管理事務

資産管理チーム・年金信託部規約チーム

※2025年4月1日時点

## 4-2. 運営管理機関の信用及び財産の状況等

- ・ 弊社は信託銀行として、また、運営管理機関として、十分な業歴及び規模を有しております。
- ・ 国内外の格付機関からも問題ない格付を取得としており、事業継続性に関してなんら問題はございません。

名称	三井住友信託銀行株式会社	拠点数 ※1	国内：147カ所 (支店：133・コンサルプラザ他：14)	
本店所在地	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号		海外：支店5・駐在員事務所：5	
設立年月日	1925（大正14）年7月28日	運営管理機関 登録	2001年12月5日・登録番号94号	
総資金量 ※1	98兆1,471億円	運営管理機関 受託実績	加入者数約177万人	
貸出金 ※1	33兆7,812億円	格付情報 ※2	<u>長期</u>	<u>短期</u>
資本金 ※1	3,420億円	S&P	A	A-1
従業員数 ※1	13,848人	Moody's	A1	P-1
		JCR	AA	-
		R&I	AA-	a-1+

なお、弊社の経営状況、業績等は、弊社HP（<https://www.smtb.jp/corporate/>）でも公表しております。

※1：2024年3月31日時点

※2：2023年10月6日時点

## 4-3. 運営管理業務以外の委託業務（例：投資教育）の状況

- ・弊社では、事業主様からの委託に基づき、投資教育業務を行なっております。
- ・事業主様、加入者様の状況・ニーズ等に応じて、さまざまな投資教育メニューを用意しておりますのでぜひご活用ください。
- ・スマホアプリ（Smart Life Designer）を活用した情報配信サービス（「DC通信」）をご提供しております。

### <弊社の主な投資教育サービス>

#### 1. 対面教育

- （1）加入時教育：制度発足時、企業追加時、新入社員や中途入社者など、これからDCに加入する方向け  
集合型の対面講習会に加えて、WEB会議ツールを活用したオンライン講習会（WEB講習会）も数多く開催
- （2）継続教育：既に参加している方向け
  - ①フォローアップ教育：制度や運用への理解を深め、制度の活性化を図る  
資産運用セミナー、WEB活用セミナー、運用見直しセミナー
  - ②ステップアップ教育：多様なニーズやライフステージに対応したテーマでさらなるステップアップを図る  
ライフプランセミナー、年代別（20代、30代、40代、50代など）セミナー、退職者向けセミナー

#### 2. 非対面教育

加入者様の状況や目的に応じてさまざまなコンテンツをご用意。

【ご参考】スマホアプリ（Smart Life Designer）内の「DC通信」

- （1）スマホアプリ（Smart Life Designer）を活用して、運用や制度に関するお役立ち情報をお届けする「DC通信」を定期配信
- （2）投資教育に活用いただける動画コンテンツ（短編動画集）を三井住友信託ライフガイドに掲載
- （3）各種WEBコンテンツ：「スマホで簡単理解：①クイズで簡単理解、②動画で簡単理解」
- （4）ストリーミングサービス（加入時教育用）・投資教育DVD（加入時教育用／継続教育用）



※ 画面はイメージです。本アプリは確定拠出年金運営管理機関としてご提供するものではありません。ご利用は加入者様の任意となります

■

]

.

通知「確定拠出年金制度について（平成13年8月21日年発第213号）」の「第9 行為準則及び業務管理態勢に関する項目」の「1. 事業主の行為準則」および「第10 事業主による確定拠出年金運営管理機関の定期的な評価」より抜粋

(1) 運用関連業務が適切に行われているか

- ①提示された商品群の全て又は多くが1金融グループに属する商品提供機関又は運用会社のものであった場合、それがもたら加入者等の利益のみを考慮したものであるといえるか。
- ②下記ア～ウのとおり、他の同種の商品よりも劣っている場合に、それがもたら加入者等の利益のみを考慮したものであるといえるか。
  - ア 同種（例えば同一投資対象・同一投資手法）の他の商品と比較し、明らかに運用成績が劣る投資信託である。
  - イ 他の金融機関が提供する元本確保型商品と比べ提示された利回りや安全性が明らかに低い元本確保型商品である。
  - ウ 同種（例えば同一投資対象・同一投資手法）の他の商品と比較して、手数料や解約時の条件が良くない商品である。
- ③商品ラインナップの商品の手数料について、詳細が開示されていない場合又は開示されているが加入者にとって一覧性が無い若しくは詳細な内容の閲覧が分かりにくくなっている場合に、なぜそのような内容になっているか。
- ④確定拠出年金運営管理機関が事業主からの商品追加や除外の依頼を拒否する場合、それがもたら加入者等の利益のみを考慮したものであるか。

(2) 運用商品のモニタリング状況について

確定拠出年金運営管理機関による運用商品のモニタリングの内容（商品や運用会社の評価基準を含む）、またその報告があったか。

(3) 加入者への情報提供について

加入者等への情報提供がわかりやすく行われているか（例えば、コールセンターや加入者ウェブの運営状況）。

(4) その他

- ①確定拠出年金運営管理機関自体の組織体制、運営体制
- ②確定拠出年金運営管理機関自体の事業継続性（運管の信用及び財産の状況等）
- ③例えば、投資教育を委託している場合の投資教育の内容や方法等

-

格付会社に対しては、市場の公平性・透明性の確保の観点から、金融商品取引法に基づく信用格付業者の登録制が導入されており、これに伴い、金融商品取引業者等は、無登録格付業者が付与した格付を利用して勧誘を行う場合には、金融商品取引法により、無登録格付である旨及び登録の意義等を顧客に告げなければならないこととされています。本資料中のムーディーズ（Moody's）、スタンダード&プアーズ（S&P）、フィッチ（Fitch）（他の略称等を含む）の格付の記載には、同各格付会社グループ内の無登録格付業者が付与した格付を含みますので、下記事項をご確認ください。

#### ○登録の意義について

登録を受けた信用格付業者は、①誠実義務、②利益相反防止・格付プロセスの公平性確保等の業務管理体制の整備義務、③格付対象の証券を保有している場合の格付付与の禁止、④格付方針等の作成及び公表・説明書類の公衆縦覧等の情報開示義務等の規制を受けるとともに、報告徴求・立入検査、業務改善命令等の金融庁の監督を受けることとなりますが、無登録格付業者は、これらの規制・監督を受けておりません。

2020年9月改定

#### （ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク）

○格付会社グループの呼称等について  
格付会社グループの呼称：ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク（以下「ムーディーズ」と称します。）  
グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：ムーディーズ・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第2号）  
○信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について

ムーディーズ・ジャパン株式会社のホームページ（ムーディーズ日本語ホームページ（[https://www.moodys.com/pages/default\\_ja.aspx](https://www.moodys.com/pages/default_ja.aspx)）の「信用格付事業」をクリックした後に表示されるページ）にある「無登録業者の格付の利用」欄の「無登録格付説明関連」にあります「信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要」（<https://www.moodys.com/sites/products/ProductAttachments/MoodysJapan/SP35461.pdf>）に掲載されています。

#### ○信用格付の前提、意義及び限界について

ムーディーズの信用格付は、事業体、与信契約、債務又は債務類似証券の将来の相対的信用リスクについての、現時点での意見です。ムーディーズは、信用リスクを、事業体が契約上・財務上の義務を期日に履行できないリスク及びデフォルト事由が発生した場合に見込まれるあらゆる種類の財産的損失と定義しています。信用格付は、流動性リスク、市場リスク、価格変動性及びその他のリスクについて言及するものではありません。また、信用格付は、投資又は財務に関する助言を構成するものではなく、特定の証券の購入、売却、又は保有を推奨するものではありません。ムーディーズは、いかなる形式又は方法によっても、これらの格付若しくはその他の意見又は情報の正確性、適時性、完全性、商品性及び特定の目的への適合性について、明示的、黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。

ムーディーズは、信用格付に関する信用評価を、発行体から取得した情報、公表情報を基礎として行っております。ムーディーズは、これらの情報が十分な品質を有し、またその情報源がムーディーズにとって信頼できると考えられるものであることを確保するため、全ての必要な措置を講じています。しかし、ムーディーズは、監査を行う者ではなく、格付の過程で受領した情報の正確性及び有効性について常に独自の検証を行うことはできません。

この情報は、2020年9月18日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは上記ムーディーズ・ジャパン株式会社のホームページをご覧ください。

#### （スタンダード&プアーズ・レーティングズ・サービス）

○格付会社グループの呼称等について  
格付会社グループの呼称：S&Pグローバル・レーティング（以下「S&P」と称します。）  
グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：S&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第5号）  
○信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について

S&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社のホームページ（[http://www.standardandpoors.com/ja\\_JP/web/guest/home](http://www.standardandpoors.com/ja_JP/web/guest/home)）の「ライブラリ・規制関連」の「無登録格付け情報」の、「格付付与方針・方法の概要」にあります「格付付与の方針の概要」「格付付与の方法の概要」（[http://www.standardandpoors.com/ja\\_JP/web/guest/regulatory/unregistered](http://www.standardandpoors.com/ja_JP/web/guest/regulatory/unregistered)）に掲載されています。

#### ○信用格付の前提、意義及び限界について

S&Pの信用格付は、発行体または特定の債務の将来の信用力に関する現時点における意見であり、発行体または特定の債務が債務不履行に陥る確率を示した指標ではなく、信用力を保証するものでもありません。また、信用格付は、証券の購入、売却または保有を推奨するものではなく、債務の市場流動性や流通市場での価格を示すものでもありません。信用格付は、業績や外部環境の変化、裏付け資産のパフォーマンスやカウンターパーティーの信用力変化など、さまざまな要因により変動する可能性があります。

S&Pは、信頼しうると判断した情報源から提供された情報を利用して格付分析を行っており、格付意見に達することができるだけの十分な品質および量の情報が備わっていると考えられる場合にのみ信用格付を付与します。しかしながら、S&Pは、発行体やその他の第三者から提供された情報について、監査、デューデリジェンスまたは独自の検証を行ってならず、また、格付付与に利用した情報や、かかる情報の利用により得られた結果の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。さらに、信用格付によっては、利用可能なヒストリカルデータが限定的であることに起因する潜在的なリスクが存在する場合もあることに留意する必要があります。

この情報は、2020年9月18日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは上記S&Pグローバル・レーティング・ジャパン株式会社のホームページをご覧ください。

#### （フィッチ・レーティングス）

○格付会社グループの呼称等について  
格付会社グループの呼称：フィッチ・レーティングス（以下「フィッチ」と称します。）  
グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第7号）  
○信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について  
フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社のホームページ（<https://www.fitchratings.com/ja>）の「規制関連」セクションにある「格付方針等の概要」に掲載されています。

#### ○信用格付の前提、意義及び限界について

フィッチの格付は、所定の格付基準・手法に基づく意見です。格付はそれ自体が事実を表わすものではなく、正確又は不正確であると表現し得ません。信用格付は、信用リスク以外のリスクを直接の対象とはせず、格付対象証券の市場価格の妥当性又は市場流動性について意見を述べるものではありません。格付はリスクの相対的評価であるため、同一カテゴリーの格付が付与されていたとしても、リスクの微妙な差異は必ずしも十分に反映されない場合もあります。信用格付はデフォルトする蓋然性の相対的序列に関する意見であり、特定のデフォルト確率を予測する指標ではありません。

フィッチは、格付の付与・維持において、発行体等信頼に足ると判断する情報源から入手する事実情報に依拠しており、所定の格付方法に則り、かかる情報に関する調査及び当該証券について又は当該法域において利用できる場合は独立した情報源による検証を、合理的な範囲で行いますが、格付に関して依拠する全情報又はその使用結果に対する正確性、完全性、適時性が保証されるものではありません。ある情報が虚偽又は不当表示を含むことが判明した場合、当該情報に関連した格付は適切でない場合があります。また、格付は、現時点の事実の検証にもかかわらず、格付付与又は据置時に予想されない将来の事象や状況に影響されることがあります。

この情報は、2020年9月18日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは上記フィッチのホームページをご覧ください。

-

|

# End of Presentation

- 本資料は、情報の提供を目的として作成しており、具体的な対応についてはお客様のご判断により行っていただくこととなります。お客様のご判断によって行ったご対応の結果生じた損害につきましては、弊社は一切責任を負いません。
- 本資料における弊社からの提案をお客様が採用されない場合であっても、弊社との他のお取引についてお客様が不利益な取扱いを受けることはありません。また、弊社は本資料における提案をお客様が採用されることをお客様との他のお取引の条件とすることはありません。
- 本資料は、作成日において弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成したものであり、その情報の正確性・確実性について保証するものではありません。また、今後の金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が変更となる場合がございます。
- 本資料は、法律・会計・税制上の助言をなすものではないため、法律・会計・税制上の取扱いについては各専門家にご確認くださいようお願い申し上げます。
- 本資料の数値は、一定の前提に基づく概算数値が含まれる場合があります。実際の適用に際しては正式な計算を行う必要があり、その場合の結果は差異が生じますのでご注意ください。また、シミュレーションやバックテスト等のデータ、運用実績やリスク・リターン等による商品分類図を含めた本資料の内容は、将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 本資料に係る一切の権利は、他社資料の引用部分を除いて三井住友信託銀行に属し、いかなる目的であれ本資料の一部または全部の無断での使用・複製は固くお断り致します。
- 本資料の内容に関して疑問に思われる点、ご不明な点等がございましたら、弊社営業担当店部等にご照会くださいますようお願い申し上げます。

(以下の表示は、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律第2条の2で準用する金融商品取引法第37条の規定に基づく表示です。)

## ・信託契約に係るリスクについて

信託契約においては、金利・為替・株式等の価格変動により、また、投資先の信用状況の変化(発行者の事業内容、財務等の経営状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等)により、損失が生ずることとなるおそれがあります。

## ・契約の際、お支払い頂く報酬・手数料等について

本資料の記載内容に基づきお客様が弊社と新たに各種契約を締結する場合は、所定の報酬・手数料等が発生いたします。個別の計算方法はお客様と弊社が協議のうえ決定します。契約締結にあたっては、必ず弊社営業担当者宛に計算方法をご確認くださいようお願い申し上げます。

## ・商号等

弊社の商号等 : 三井住友信託銀行株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会